

養正公民館と坂上児童館の機能統合計画に関する説明会 意見交換記録（要旨）

< 1 回目 >

日 付：令和 4 年 9 月 25 日（日）10 時～11 時 20 分

会 場：養正公民館 1 階大ホール

出席者：25 人

1	
質問・意見	① 坂上児童館の耐震性を示す Is 値は 0.16 ということだが、遊戯室部分のみが 0.16 ではないか。
回答	① Is 値 0.16 は遊戯室の部分。事務室、和室などがある棟については、Is 値 0.96 で耐震性があるものの、建物全体の Is 値は一番低いところを表示するので、0.16 としている。
2	
質問・意見	② 坂上公民館を無くすわけにはいけないので、新築できると一番いいが、負担が大きく無理。改修の場合でも費用を全て負担するのは無理なので、市の負担（補助等）をもう少し柔軟にしてもらえないか。
回答	② これまでは、地元の費用に補助金を加算するなど、坂上公民館の新築を前提として、現建物の取り壊し費用の市負担等について協議してきたところ。現在は、新築ではなく、改修する可能性が高いという話を聞いたばかりであるため、今後、その方向に切り替えて地元との協議を進めたい。
3	
質問・意見	③ 子どもに、将来的に子ども情報センターが無くなるかもしれないと伝えたところ、子ども関連の施設が地域からなくなり魅力が無くなるため、将来子育てを多治見市で行いたくないとの話があった。施設が無くなるが他にどういったことができるのか、子どもたちは説明会に来ないのでしっかり広報をしてほしい。
回答	③ 統合が進んでいく中で、どのような機能がこの地域にあるのか分かるよう周知を行い、将来多治見市での子育てを選択してもらえよう、まちづくりを進めていく。（子ども情報センターの現時点での計画は、その機能を図書館本館へ移す内容となっており、情報センター機能を市内から無くすものではありません。）
4	
質問・意見	④ 今後人口が減っていく中で、市役所本庁舎建替えも計画されており、市の収入面が心配である。本計画の収入面はどう考えているか。

回答	④ 統合事業、あるいは長寿命化事業については、国の助成措置がある。今回の統合工事については事業費の 45%相当の国の助成が受けられる。
5	
質問・意見	⑤ 説明資料に統合のメリットだけが書かれているが、デメリットもあるはずなので、計画をする上で出たデメリットを説明してほしい。 統合後の利用者数の予測データを出してほしいと以前から依頼しているが、駐車台数の予測ができていたのであれば利用者数の予測もできているので、説明してほしい。
回答	⑤ 統合のデメリットとして、前面道路が危険や駐車場が少ない等のご意見をいただいていたため、これまで対応してきた。 移転後も、現在の坂上児童館の来館者数が変わらず来ると想定しており、精華交流センターの実績を踏まえると、さらに、1～2割それが増えると予測している。
6	
質問・意見	⑥ 養正公民館に児童館は建ててほしくない。前面道路のゾーン 30 や駐車場拡張をしたからという理由では統合に納得できない。 また、子ども情報センターは多治見の宝であり、無くしてはいけない。 子どもの権利条例を制定した本質を見失っているとしか思えない今回の統合案は、子どもの未来応援する会として反対である。 また、土地を広げるため隣地を買ったが、どこからその予算がでたのか。
回答	⑥ 統合に反対とのことだが、坂上児童館に耐震性がないため、行政としては、いつまでもこのままにしておくことはできない。 多治見工業高校テニスコートの一部土地取得については、岐阜県と土地交換をし、お金を一切使っていない。 また、隣地は、駐車場を広げる工事の際の近隣説明の中で、突然に用地取得の話が進んだものだが、土地取得はその場を逃しては成立しないことがあるので、俊敏に実施したもの。
7	
質問・意見	⑦ 多治見市の中で最初に子育て支援を始めたのが坂上児童館。各校区に児童館があり、多治見は子育ての先駆けなどと言われたこともある。 当時は、子どもの権利条例など、行政と一緒に作りあげてきた実感があるが、今は行政と市民の間に溝があるように感じるため、よく話し合い、ハコのことばかりでなく人を育てなければだめ。ぜひ、未来を一緒に考えてほしいと思う。

回答	⑦ 各小学校区に児童館があることは多治見の大きなセールスポイントでもあるため、今後も維持したいと考えているが、坂上児童館は安全性というところで、このまま持続することが難しくなっている。 また、子どもの居場所ということでは、行政ができることは今後限度が出てくるため、市民と一緒に考えていく必要があると考えている。まだ決定ではないが、子どもの居場所に対する支援策にも力を入れていきたいと考えている。
8	
質問・意見	⑧ 統合後、ドッジボールやスケボー等、子ども達はどこで遊ぶのか。
回答	⑧ ボール遊び等をする子どもは南坂上公園を利用していきたい。統合が進めば南坂上公園の魅力を増すような遊具等の計画を進めることができる。どうしても敷地内で遊ばせないといけない小さいお子さんは、敷地内に土の中庭等を整備するので、そこを利用していきたい。

< 2回目 >

日 付：令和4年9月27日（火）19時～20時10分

会 場：養正公民館 1階大ホール

出席者：26人

1	
質問・意見	① 説明資料に精華交流センターと坂上児童館の利用者数の比較があるが、校区の子どもの数が倍程度違うため、比較するのはおかしい。 また、坂上児童館の敷地は借地と聞いているが、借地料は支払われてきたか。
回答	① 相対的に精華の児童数が多いのは間違いないが、ここで示したかったのは、精華児童館の統合前後の差で、令和3年度実績で来場者数が市内13館のうち3番目に多く、統合前は10番目であった。 当時出来た覚書の中で、土地建物を含めて地元の方と市で一定のルールを作った。児童館部分の改修は市が行い、ガス・電気代等は一定のルールで分担しあうというもの。これはその中に借地料も含めた考え方であると理解している。
2	
質問・意見	② かさはら福祉センターの借地料は年間300万円で、中央児童館の駐車場も年間36万円支払われていると聞いた。同じように坂上児童館の50年分の借地料を支払っていただければ、今の場所で子どもの居場所づくりを地元が行うことができるので、市役所の跡地活用が決まるまで、建て替えを待ってほしい。
回答	② かさはら福祉センターは笠原町時代から借りており、それが今に至っているため、類似性はない。中央児童館の借地は、駐車場部分だけで、当初からではなく、途中から駐車場を増やしたものと推測している。その地区ごとでケースバイケースである。 借地料についての回答は、前述同様。
3	
質問・意見	③ 中央児童館は途中で駐車場を広げ、借地料を支払った。同じように坂上児童館でも見直しをかければよかったのではないか。
回答	③ 覚書では、建物の修繕は主に市が負担してきた。市と地元でプラスマイナスで分担しているところに見直しをかけると修繕費をいただくことになる。 加えて、市として児童館を運営するにあたっては、人を配置し、建物管理に協力してきた。結果、これまで見直しは行われていない。

4	
質問・意見	④ 養正公民館は一方通行で見通しが悪く、また、南坂上公園付近は車のスピードが加速する場所で横断歩道がなく、子どもだけでは行かせられないと感じた。 一方で、現坂上児童館は目の前に公園があり、子どもにも条件がいい。子どもだけで安心して行かせられる設備が長年の歴史を経て整っている。 地元の坂上公民館としては、あの場所に残るので、本庁舎の行く末が決まるまでの間、私たち自身で子どもの居場所、受け皿、体制を整えていきたい。
回答	④ 児童館を 13 小学校区に一つずつ設置していく方針は変わらない。修繕の話は別途あるが、児童館機能を坂上から養正にもってくるのは理想的だと思っている。児童館事業の一つの目的でもある地域交流、多世代交流の促進にはここが一番いいと考える。ただし、まだ設計前であることから、この場所で一つ一つ具体的な意見をいただきながらクリアしていきたい。児童館廃止後も地域社協が現坂上児童館を使っていくとのことなので、子どもの居場所づくりが継続できるよう協力していきたい。
5	
質問・意見	⑤ ゾーン 30 を取り入れて前より安全になることはわかったが、さらに歩道橋をつけてもらえないか。
回答	⑤ 一方通行の道路は幅員が狭く歩道橋をかける場所がない。 参考として、以前にスピード抑制のために半月ほどハンプ（速度抑制のため、道路に設置する凹凸の装置）を置いてみたが、多治見市では陶器などの割れ物を扱うトラックがとおり、夜間は住宅地にドンドンという音がするので、取り入れることができないという結果になった。